

世界遺産「二条城」の隠れた取組みに学ぶ

～文化財の保存と観光振興への活用の両立を目指して～

国際協力機構(JICA)は学校法人立命館の協力のもと「世界遺産の適切な管理を通じた観光振興」研修を実施しています。世界遺産管理担当者及び世界遺産を観光資源として活用する観光振興担当者を対象とした約1ヵ月にわたる研修で2016年より実施しています。

本研修コースの前半は京都市内に滞在し、日本の世界遺産保護対策、課題、保存と開発、観光政策への活用などの講義を受け、行政の観光振興施策について学ぶとともに、京都市内に点在する世界遺産や古い街並みを訪れ、街並み保全や世界遺産保全の現場で具体的な現状と課題について学びます。

開発途上国の研修員たちが直面している、「文化財の保全とその観光振興への活用」について、国内外からの観光客が多く訪れる京都の人気観光スポットでもある世界遺産「二条城」を訪問し、その取組みをモデルケースとして学びます。

2019年10月4日(金)に、以下の日程で訪問いたします。研修員へのインタビューと取材を是非ご検討ください。※ご取材の際は研修担当通訳による通訳がございます。

13:00～15:00	講義	文化財の保存と活用のモデルを目指して「世界遺産・二条城」	講師:北村 信幸 氏 元離宮二条城事務所所長
15:15～16:00	見学	二条城	講師:山崎 正史 氏 立命館大学名誉教授

参加研修員: ラオス、ミャンマー、スリランカ、エジプト、イラク、ジャマイカ、ミクロネシア、エリトリア(8か国8名)

【本件に関する問い合わせ先】

◆研修について JICA 関西業務1課 畑山 ゆかり TEL 078-261-0383 e-mail : Hatayama.Yukari@jica.go.jp	◆当日の取材について 立命館大学国際連携課 橋本、園木 TEL : 075-813-8207/090-7117-3535
--	---